

スカイ・クロラの喫煙シーンについて

2008. 8. 10

プロダクション I.G 社長様

〒185-0021 国分寺市南町3-2-31 南ビル 電話042-323-3569

日本テレビ社長様

〒105-7444 港区東新橋1-6-1 電話03-6215-1111

ワーナー社長様

〒105-0003 港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル

電話03-5251-6300

映倫（映倫管理委員会）会長様

中央区銀座3-9-18 東銀座ビル2階 電話03-3541-2717

映倫「青少年映画審議会」 会長様

NPO 法人 日本禁煙学会

理事長 作田 学

162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 30-5-201

電話 090-4435-9673 メール desk@nosmoke55.jp

この度の「スカイ・クロラ」の公開、おめでとうございます。

<http://sky.crawlers.jp/index.html>

斬新なテーマ、現状の世界にはない設定での、愛と生と死の問題提起、精妙な画像等々メディアで紹介されています。また、ベネチア映画祭にまでご出品なされ、話題の俳優を声優として起用するなどさまざまな点で注目されています。

しかしながら、予告編には全く見られなかった喫煙シーンの多さに、すでにネット上でも不快の念を表明されている方が目立ってきております。キルドレと称される「こども」の喫煙シーンは、いかに、原作に忠実とは言え、ドラマの展開に不可欠のものとは思われません。あたかも、JT（日本たばこ産業株式会社）などのタバコ会社の宣伝映画かと思われんばかりです。舞台が、想定上の近未来のヨーロッパであるとしても、出演者が日本人の名前であるので、未成年者の喫煙を禁じた現行の日本の法律に反していることは明らかです。

まして、映画の中で語られる「喫煙しない上司は信じない」というセリフは、いったい何を言わんとしているのでしょうか。現在全世界的に進められているタバコ撲滅へ努力されている多くの方々にとっては極めて不快に受け取られることでしょう。

関係者の皆様はご存じないでしょうか？ 先日のサミットに参加された先進国のうち禁煙法が施行されていないのは、我が国とロシアだけになっているのです。これは2005年に発効した「たばこ規制世界枠組み条約」(FCTC)に基づいたことで、日本も2010年2月までに、「完全なる受動喫煙の防止」が要請されています。

(参考) 受動喫煙防止ガイドライン

<http://www.nosmoke55.jp/data/0707cop2.html>

ベネチアも当然、こういう「空気」の中にあるわけですが、このことを知った上で、このような映画を出品なさるのでしょうか？ 「空気の読めない」方々だと言われなければよいのですが・・・。

とくにイタリアの喫煙率はわずか22%、男性に限っても28%です。「喫煙する人間なんかは上司になれない」と言った方が正確であったかもしれません。

世界の禁煙への努力は、決してイベントでも風潮でもありません。ここ10年くらいで、タバコの害を証明する医学的エビデンスは増加の一途であります。一昔前のタバコが、ある生き方を象徴するという信念と、JTの巧妙な販売戦略による誤った表現が、まだまだ世の中に残存しております。

タバコの件以外ではすぐれた作品である「スカイ・クロラ」が多くの青少年に影響することは明らかであり、タバコがこのような形で作品の中に取り入れられたことは誠に残念であります。

と同時に、今まさに映画などによるタバコの宣伝を罰則付きで禁止する条約のガイドラインがジュネーブで論議されつつある中で、タイミング良くこのような映画が出現したことはタバコ規制枠組み条約(FCTC)の違反事例の一つとして記憶されるでしょう。

そして、監督はもちろんのこと、配給会社、テレビ会社、原作者、製作者などを一様に処罰するガイドラインが作られることになるでしょう。

質問させてください。

1. 制作関係者の方は、タバコに関する国際的な動向（F C T Cや公共の場の例外なき禁煙、子どもの喫煙制圧など）をご存知の上でこの映画・アニメを制作されたのでしょうか？
2. 喫煙シーンは、この作品になくてはならない、というものでないと思われませんが、なぜこれほど多くの喫煙シーンを取り入れているのでしょうか？
3. このような若者の喫煙シーンの多用は、観客の子ども・未成年者・若者の喫煙流行を勧めかねないし、自然に喫煙の許容感覚を植え付けかねない危惧があるように思いますが、映像制作者としてのこれら世代に対する影響の大きさと責務をどうお考えでしょうか？
4. 禁煙環境が激増し、かつ子ども・未成年者の喫煙防止の徹底を進めている国際的・国内外の動きがある（例えば国内ではタスポなどによるタバコ自販機対策など）ことから、近未来に、若者の喫煙シーンは非現実的の設定のように考えますが、そのような社会の動きも勘案したフィクションが望ましいと考えますが、どうお考えでしょうか？
5. ベネチアでは、喫煙に対する態度をどう説明されますか？ そして、ハリウッド映画や海外の映画・アニメ・TVドラマでは、喫煙シーンをカットする動きが広がっていますが、子ども・未成年者の保護と健全育成のために、必要不可欠とご理解いただけますでしょうか？
6. 次回の作品では喫煙シーンを排除しますか？

9月20日を目途にご回答いただけるようお願いいたします。